

# 思いやりの心伝えたい

## AMDA 菅波 代表の母 校 神辺小児童ら

アジア医師連絡協議会 好良治校長、児童数646  
(AMDA) 本部・岡山 人)で、子供たちが「先輩  
母校、神辺町立神辺小(三

を助けよう」と集めた募金  
が9日、AMDA事務局に

手渡された。お金は今年1  
月に大地震のあった中国・  
雲南省で潰れた学校校舎再  
建に役立てられるという。

同小児童会(吉本尚永会  
長)が中心になって6月に  
取り組んだAMDA募金は  
約6万5千円になった。子  
供たちの小遣いの一部など  
で、10円玉、5円玉などの  
硬貨が大半。学校では枚数  
が数え切れず、困っていた  
ところ、同校近くのJA神  
辺の神辺支所が器械を使っ  
て総額を計算してくれた、  
という。

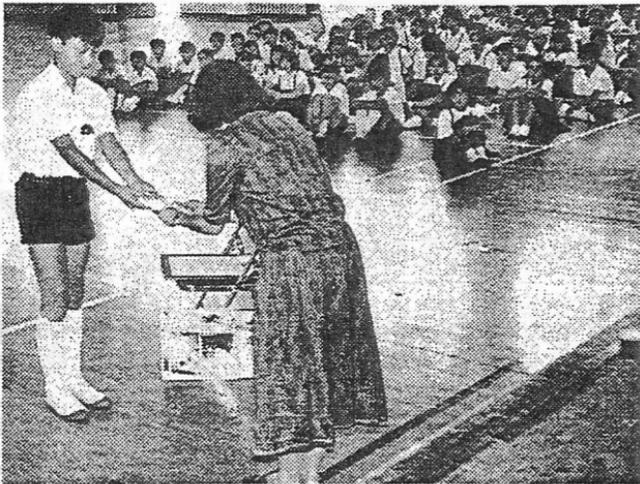
この日は、多忙のため母  
校に来ることができなかつ  
た菅波代表の代理としてA  
MDAの森紀代子事務局員  
が訪問、体育館に集まった  
5、6年生に中国・雲南省  
などでのAMDAの災害救

援活動や、同省の震災で大

やけどを負った子供を救お  
うと岡山の小学生が募金活  
動を始めたのがきっかけで  
震災救援の輪が広がったこ  
となどを紹介。「一人の役に  
立ちたいと思う時は『して  
あげる』ではなく、お互い  
への尊敬の気持ちを持ち、  
『一緒にやろう』とごう心  
で表現する」とごう菅  
波代表の後輩へのメッセー  
ジも伝えられた。

この後、吉本児童会長か  
ら子供たちの募金が手渡さ  
れ、さらに、保護者らが5  
月の地区運動会で実施した  
バザーの収益金の約半分も  
贈られた。

三好校長は「これがきっ  
かけで、中国の子供たちと  
手紙などで交流ができれば  
」と期待しており、森事  
務局員も現地に意向を伝え  
ることを約束した。



「AMDA募金」を手渡す神辺小の吉本・児童会長(左)